

JHTS

Japan Hand Therapy Society



TOPICS

新・理事長挨拶

新・理事挨拶

セミナー情報

第38回学術集会・全国研修会のお知らせ

一般社団法人 日本ハンドセラピー学会

理事長 西村 誠次



日本ハンドセラピー学会会員の皆様には、本学会の活動において日頃からご支援ならびにご協力を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。

さて、私こと、2024年5月より大山峰生前理事長の後を受け、本学会の理事長に就任いたしました。このような立場で本学会の発展に貢献できる機会を与えていただき大変光栄に存じます。歴代の会長、理事長、理事、さらに会員の方々のご尽力により発展してきました本学会をさらに盛り上げるべく全力で精進する所存です。

本学会は、1980年にハンドセラピー研究会として始まり、1988年には日本ハンドセラピー学会として発足し、椎名喜美子先生をはじめ6名の先生方が中心となり本学会の設立期を支えてこられました。その後、2007年に中山幸保会長となり、2009年には認定ハンドセラピスト制度を設立し、2012年には一般社団法人日本ハンドセラピー学会となり初代理事長も歴任されました。さらに2014年からは大山峰生理事長、大森みかよ副理事長、岡野昭夫副理事長が中心となり、本学会の充実と発展のために新たに研究助成制度、留学支援制度、学会参加支援制度を設立し、さらに精密知覚機能検査の保険収載は第二世代の先生方による大きな業績と言えると思います。そして今回の新体制は、新たな時代、すなわち第三世代の先生方が中心となる準備期であり、若い先生方の連携と実践・推進力に大いに期待していただきたいと考えております。

本学会の会員動向においては、新型コロナウイルス感染症以前は年々増加傾向でありましたが、2021年以降の増加は鈍化し、現在の会員は850名近くとなっております。今後は、日本作業療法士協会及び日本理学療法士協会との連携を深めるとともに、ICT委員会、広報委員会が中心となって本学会の管理運営のICT化を促進し、ホームページやSNSによる情報発信を活性化し、より充実した会員サービスを図っていく予定です。

また手の機能評価と教育研修では日本手外科学会との連携は必須であり、さらに認定制度の充実にはセミナーの講師育成を含め認定教育研修の活性化が不可欠と考えております。これらは機能評価委員会、学術研究委員会、診療ガイドライン委員会、認定教育研修委員会の連携によって担っていただきます。

さらに認定制度は設立してすでに15年経過しており、本学会の専門性を関連団体に示すには何よりも認定ハンドセラピストを増やすことが重要課題と考えております。将来計画委員会と認定資格審査委員会が中心となって、認定臨床研修委員会、認定教育研修委員会、キャリアアップ委員会など多くの委員会がしっかりと連携し、教育・社会貢献領域の単位などを含めた改定を検証し、かつ認定臨床研修施設を増やすことで地域格差を少なくし、認定制度がより充実するよう努めていく所存です。

そして2029年にはAPFSSH&APFSHTの日本開催が決定しております。国際交流委員会、将来計画委員会が中心になって、IFSHTへの委員選出、日台合同企画などを通してIFSHT及びAPFSHTにおける人材交流と国際化の促進を進めていく予定です。

最後に、新体制の顧問には市立奈良病院名誉院長の矢島弘嗣先生にご継続いただき、新たに大山峰生先生にもお引き受けいただき本学会の未来の方向性においてご助言いただきます。また委員会においては委員長歴のある方にサポートしていただくアドバイザー制度を新設し、これまでの経験を新体制に活かしていただくことにいたしました。さらに未来を担う若い人材の発掘のために、各委員会の委員数を増やし新体制における委員会活動の充実と活性化を進めていくつもりです。

これら多くの課題に取り組み実現していくためには、これまでの経験と新たな創意工夫、そして次世代の人材育成を繋ぐことが必要と考えております。ハンドセラピーにおける基礎・臨床研究を推進し、関連団体との連携を深めて認定制度と卒後教育をより充実させ、日本から世界に多くの情報を発信していくことが、本学会の臨床・研究・教育の未来をグローバルに発展させると信じております。微力ではございますがこれらの実現に誠心誠意努めさせていただく所存です。Alan Kayの言葉に” The best way to predict the future is to invent it.”とあります。これまでの本学会の伝統を継承し、かつハンドセラピーの未来を会員の方々と一緒になって作っていきたいと考えております。会員の皆様には、今後ともご支援ならびにご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2025年5月吉日

新・理事挨拶



理事
車谷 洋

この度、初めて理事を拝命いたしました名古屋市立大学医学部保健医療学科の車谷洋と申します。

平素より、会員の皆様には、多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今回の役員選挙で理事のご推薦を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。浅学菲才の私には身に余る光栄です。日本のハンドセラピィを牽引してこられた諸先輩方が築き上げられた本学会の発展に寄与できるよう取り組んで参りたいと考えております。

私は国際交流委員会委員長をつとめさせて頂くこととなりました。国際交流委員会は本会の国際貢献としての国際学会への協力、ならびに本会会員の国際交流を援助するための留学支援や国際学会参加支援を行っております。

日本のハンドセラピィは世界に誇れるものであると思います。その優れた技術や知見を世界のハンドセラピストに知って頂くことで、国際貢献と日本のハンドセラピィのさらなる発展につながると考えております。本委員会は多くの会員の皆様が国際舞台で活躍できるよう、また日本ハンドセラピィ学会がアジア地域だけでなく世界でも一目置かれる存在となれるよう、役割を果たしたいと思っております。

誠心誠意つとめさせて頂きますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



理事
小田 桐正博

この度、日本ハンドセラピィ学会の理事を拝命いたしました、一般財団法人新潟手の外科研究所病院の小田桐正博と申します。会員の皆様に、謹んでご挨拶申し上げます。

私はこれまで、ハンドセラピストとして手外科医の指導のもと、外傷例を中心に臨床に携わってまいりました。また、学術面では前理事長の大山先生のご指導を仰ぎ、多くの学びの機会をいただけてまいりました。これまで本学会では、広報委員およびICT委員として業務に携わってまいりました。理事に就任致しました今期より、西村理事長のご指名を受け、広報委員長を拝命するとともに、ICT委員会にも引き続き所属することとなりました。広報委員会では、副委員長である蓬萊谷先生と共に、学会活動の可視化と会員の皆様への情報提供の充実を目指し、ホームページおよびSNSの運用強化や情報発信の効率化に取り組んでまいります。より多くの方々に学会の活動や最新の知見を届けられるよう努める所存です。また、ICT委員会では、藤目委員長のもと、学会運営やセミナーのICT化を推進し、会員の皆様にとってより利便性の高い環境を整えることを目指してまいります。

微力ではございますが、日本ハンドセラピィ学会のさらなる発展に貢献するとともに、会員の皆様にとって有益な情報や学びの場を提供できるよう努めてまいります。何卒ご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



理事
谷口しのぶ

この度、理事を拝命いたしました、JA愛知厚生連安城更生病院の谷口しのぶと申します。

会員の皆様には、日頃より多大なご支援を頂き御礼申し上げます。私は、手外科・マイクロサージャリーセンターを有する高度急性期医療を担う基幹病院にて、「最大限の機能回復と患者さんの最高の笑顔」を得ることを目標に、30年間臨床に携わってきました。

理事を拝命し、災害対策委員長とキャリアアップ副委員長を務めておりますが、この役を仰せつかって改めて感じるがあります。それは、先輩方が営々と積み重ねた献身的な努力と熱意があつてこそ、今日の日本ハンドセラピー学会が存在し、今日の自分がいるということです。常に歴史的使命感と未来を切り開いていく視点を併せ持って、変動するハンドセラピー学会を進化させることが求められます。これからは、私も先輩方から授かった知識や姿勢、気概を会員の皆様に継承し、私たちの学会のあるべき姿を求めて、衆智を結集して前進していきたいと存じます。

更に女性セラピストとして、仕事と家庭の両立に奮闘した私が、3人の母としての経験も生かして、会員の皆様のお役に立てるよう努めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



理事
成田大地

2024年度より、理事を拝命いたしました相模原協同病院の成田大地と申します。諸先輩方が築き上げ、会員の皆様のご協力を得ながら発展してきたハンドセラピー学会を、より先進的で魅力的な学会にするため尽力してまいります。本年度は、保険対策委員会委員長および規約委員会副委員長を務めるとともに、セミナー講師としても活動させていただいております。現在、保険対策委員会では、セラピストが作製するスプリントに関する算定要項の獲得を目指し、ハンドセラピストが作製するスプリントのエビデンス構築や情報発信に取り組んでおります。今後も引き続き、会員の皆様の地位向上や知識・技術の発展に寄与できるよう努めてまいります。未熟な点多々ございますが、何卒ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新・理事挨拶



理事
秋山 洋輔

新理事就任にあたり、心よりご挨拶申し上げます。

このたび、初めて理事を拝命いたしました獨協医科大学埼玉医療センターの秋山洋輔と申します。理事に就任させていただきましたことは、大変光栄であり、同時に責任の重大さをひしひしと感じております。また、これまでの学会活動、ハンドセラピーの発展に尽力してこられた諸先輩方に深く感謝申し上げます。

私は臨床現場において、ハンドセラピーに日々携わりながら、知識と技術を深める過程にあります。まだまだ学びの途上ではありますが、理事としての職務を全うする責任を重く受け止めており、ハンドセラピーに対する情熱を常に持ち続けながら精一杯努めてまいります。今後、学会活動を通じて、より一層の知識と技術の向上を図り、研究や教育の充実に向けて努力し、会員の皆様と共にハンドセラピーの発展に寄与できるよう邁進していく所存です。

まだまだ未熟な点も多いかとは存じますが、皆様からのご指導ご支援を賜りながら理事としての職責を全うしてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



理事
稲垣 慶之

この度、理事を拝命いたしました、名古屋掖済会病院の稲垣慶之と申します。謹んでご挨拶を申し上げます。今期は認定教育研修委員長、認定資格審査委員、ガイドライン委員を務めさせていただくこととなりました。

私は入職以来、ハンドセラピー専従のセラピストとして、臨床に携わってまいりました。2021年には認定ハンドセラピストの資格を取得し、その過程でハンドセラピー学会のセミナーを通じ、多くの知識や技術を学ぶことができました。これらを臨床の現場に還元できてきたものと感じております。今後は、会員の皆様がこれまで以上に知識や技術を習得しやすくなるよう、委員会活動を推進してまいります。

まだまだ若輩者ではございますが、会員の皆様にとって魅力ある学会となるよう尽力してまいります。何卒ご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



理事
及川友和

この度、ハンドセラピー学会の理事を拝命致しました、にしかわ整形外科・手の外科クリニックの及川友和と申します。併せて、認定臨床研修委員会の委員長、ガイドライン委員会を務めさせていただくこととなりました。日頃より、会員の皆様からのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。重ねて、この場をおかりし御礼申し上げます。微力ではございますが、学会発展のため、そして皆様の信頼に応えられるよう尽力してまいります。

ハンドセラピーは患者の皆さまの日常生活を豊かにする重要な領域であり、臨床の現場では高い専門性と誠意が求められます。

認定臨床研修委員会を通じて、質の高い研修制度の維持と整備を行い、研修を受けていただきやすい取り組みをしていく所存です。引き続き、会員の皆様のお力添えをいただきながら、この学会をより良いものにしていきたいと存じます。

どうぞ、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



2025年度 認定ハンドセラピスト養成カリキュラム 年間スケジュール

研修名	セミナー名	開催地・方法	開催日程	定員
基礎	入門	①集合 ②オンデマンド	①7月 ②12月	①100名 ②80名
	手の評価	オンデマンド	12月6～26日	80名
	機能解剖・触診	講義：集合 実技：集合（愛知）	7～8月	40名
応用 実践	ハンドスプリント ベーシック	講義：オンデマンド 実技：集合+オンライン （東京・大阪）	講義：8月2～21日 集合：8月30日 オンライン：9月7日	各20名
	骨折・炎症	講義：オンデマンド 実技：オンライン	9～10月	40名
	切断・再接着・ 上肢複合組織損傷	講義：オンデマンド 実技：オンライン	10月	40名
研究 教育 開発	ハンドスプリント アドバンス	講義：集合 実技：集合（東京）	集合：10月25・26日	10名
	研究法	オンデマンド オンライン	6～7月	10名



詳細はこちらから



2025年度 SW-test年間スケジュール

第1期	定員	オンライン 講義	オンデマンド講義	参加募集期間
第1回	60名	7/6 (日)	6/16 ~ 6/30	5/12 ~ 5/26
第2回	60名	7/13 (日)		
第3回	60名	7/20 (日)		
第2期	定員	オンライン 講義	オンデマンド講義	参加募集期間
第1回	60名	1/4 (日)	12/1 ~ 12/15	11/4 ~ 11/18
第2回	60名	1/11 (日)		
第3回	60名	1/25 (日)		



特別対面開催：第36回日本末梢神経学会2日目に実施

定員 80名 2025年 9月20日 (土) 参加募集期間 7/29 ~ 8/19 (予定)

- ◆今年度は第1期：各3回、第2期：各3回の全6回を実施予定です。
- ◆参加募集は第1期、第2期ごとに分けて一括で実施いたします。
- ◆参加申し込みは、参加申し込み後に事務局による抽選式で実施いたします。
- ◆特別対面開催は、第36回日本末梢神経学会2日目に対面で実施いたします。



詳細はこちらから

第38回日本ハンドセラピー学会 学術集会のご案内

『原点回帰』

－基礎から始まる新たなる挑戦－

『RETURN TO THE BASICS』

-A NEW CHALLENGE STARTING FROM THE FOUNDATIONS-

会 期 2026年4月11日（土）・12日（日）

会 場 福岡国際展示場&カンファレンスセンター

学術集会長 山田玄太（愛野記念病院）



このたび、2026年4月11日（土）・12日（日）に福岡にて「第38回日本ハンドセラピー学会学術集会」を開催する運びとなりました。本学術集会の開催にあたり、第69回日本手外科学会学術集會会長の副島 修 先生（福岡山王病院）をはじめ、日本手外科学会の先生方より格別なご支援とご配慮を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

本学術集会のテーマを『原点回帰 －基礎から始まる新たなる挑戦－』といたしました。ハンドセラピーの『原点』とは、障害を有する手の機能を可能な限り改善し、「手」を通じて営まれる日常生活や社会活動が、より円滑かつ豊かになる「生活する（できる）手（useful hand）」を獲得することにあります。そのためには、基礎となる手の構造と機能を深く理解することは必要不可欠であり、それこそが科学的根拠に基づいた質の高いセラピーの実践へと繋がると確信しております。本学術集会では、改めてハンドセラピーの『原点』であるuseful handを獲得するため、基礎の重要性を再認識することで、次なる挑戦への礎となる機会にしたいと考えております。

なお、九州での開催は、第33回（長崎）・第34回（北九州）以来となりますが、当時は新型コロナウイルスの影響により、多くの方がオンラインでの参加を余儀なくされました。今回は、ぜひ福岡までお越しいただき、対面ならではの熱気と交流を味わいながら、一緒に学術集会を盛り上げていただければ幸いです。

皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

第5回

日本ハンドセラピー学会 全国研修会

日本ハンドセラピー学会主催の全国研修会を開催いたします。
オンライン配信とオンデマンド視聴の2形式で実施します。

◆ 配信形式

- ・ ライブ配信：2025年7月27日（土）
- ・ オンデマンド配信：8月3日～9月3日（予定）



◆ 募集期間

- ・ ライブ＋オンデマンド受講：5月9日～7月11日（入金締切：7月14日）
- ・ オンデマンドのみ受講：5月9日～8月15日（入金締切：8月20日）

◆ 参加費

- ・ 会員：5,000円
- ・ 非会員：10,000円

講義名	講師
講義1 「母指CM関節に対するハンドセラピー」	斎藤 和夫 東京家政大学
講義2 「手指伸筋腱皮下断裂に対するハンドセラピー」	谷口 しのぶ 安城更生病院
講義3 「前腕・手の筋の超音波画像と筋電図」	車谷 洋 名古屋市立大学
講義4 「外傷手の拘縮予防」	越後 歩 札幌徳洲会病院
講義5 「運動制限の影響とハンドセラピーへの応用」	飯塚 照史 奈良学園大学
講義6 「手関節鏡による手術と術後リハビリテーションの実際」	梶田 芳徳 山口県済生会下関総合病院
講義7 「手指屈筋腱損傷後のハンドセラピー」	油井 栄樹 愛野記念病院
講義8 「熱傷のハンドセラピー」	武藤 光弘 JCHO中京病院

実臨床に根ざした多彩なテーマの講演を予定しています。

編集後記

この度、ハンドセラピー学会ニュースを臨時号として再開する運びとなりました。2018年の第30号以来、長らく休刊しておりましたが、新理事長の西村先生をはじめとする新体制の発足を受け、会員の皆様への情報発信の重要性を再認識し、再開に至りました。

本号では、新理事長、新理事の皆様の挨拶や抱負をご紹介します。新たなリーダーシップのもと、ハンドセラピー学会がどのように進化していくのか、その一端を感じていただければ幸いです。

今後は、年1回の定期発行を目指し、学会の最新情報、研究動向、会員の皆様の活動紹介など、多岐にわたる情報をお届けしたいと考えております。ハンド学会ニュースが会員の皆様にとって、学会との繋がりを深め、知識を共有し、新たな研究への刺激となるような存在となれるよう、広報委員会一同、尽力してまいります。皆様の温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

広報委員会（M.O）

一般社団法人 日本ハンドセラピー学会

会員数：841名（2025年5月20日現在）

理事長：西村 誠次（金沢大学）

事務局：有限会社 あゆみコーポレーション内 日本ハンドセラピー学会事務局

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A号室

学会ホームページ：<http://jhts.org/>





2025年5月27日発行
臨時再開号 第31号